

サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

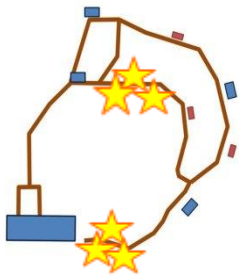
サロベツ花だより

No.15

今のおすすめは ミゾソバ です



↔
＜ 約 1 cm ＞



一周約 1km
所要時間30～40分

秋の虫の声をききながら
散策を楽しんでください

【発見難易度】

ピンク色が入った白い花です

★★★★☆ タデ科

【花の高さ】



高(40～100cm程度)

【花の大きさ】



小指の先くらい

【漢字：溝蕎麦】

ミゾソバは、名前の通り、溝に生える蕎麦に似た植物といわれています。蕎麦と付くのは、救荒植物として麦のように食べられた事によります。葉の形が牛の顔に似ていることから「ウシノヒタイ」とも言われています。

エゾリンドウ リンドウ科 咲いています



秋の大トリを飾るような花です。上の方に綺麗な紫の花が咲いています。晴れている日は、花が咲いている時を見るチャンス!!秋の訪れを告げている花となっています。

ウメバチソウ ニシキギ科 咲いています



梅の花に似た白く美しい花を咲かせます。開花後、雄しべを1日に1本ずつ立てるため、そこから各花の開花からの日数を知ることができます。草陰に隠れていることが多いので探してみてください。

オオヒシクイ カモ科 見られます!!



【漢字：大菱喰】

オオヒシクイは、秋頃に大陸から渡ってくる渡り鳥です。サロベツ原野は中継地で、沼や草地で休憩しつつ栄養を蓄えます。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ

認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL/FAX 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!